

コラム 寒地土木研究所「開発技術説明会」の開催

土木研究所 寒地土木研究所では、北海道をフィールドとして、全国の積雪寒冷地の公共工事等の現場での活用を推進するため、関係機関に積極的に働きかけ、技術者にとって関心の高いテーマの講演を行う「開発技術説明会」を、積雪寒冷地域において開催しています。

平成27年7月29日(水)にNEXCO 東日本東北支社(写真-1)で「超音波によるコンクリートの凍害劣化点検技術」など6技術、9月15日(火)に近畿地方整備局(写真-2)で7技術、11月26日(木)に関東地方整備局で7技術を説明しました。降雪および凍結融解による土木構造物への劣化影響を緩和する技術、長寿命化に関する技術のほか、品質管理、防災・減災に関わる技術についても紹介しています。

NEXCO 東日本から説明会で紹介した「冬期路面すべり抵抗モニタリングシステム」の内容についての技術相談があり、同社東北支社管内において試行的に導入がなされた。

今後も、積雪寒冷地において開発された技術を全国に普及するため、各地方整備局等で要望される技術を幅広く、また、技術者にとって関心の高い技術を紹介できるよう開催していきたいと考えています。



写真-1 技術説明会の様子 (NEXCO 東日本東北支社)



写真-2 技術説明会の様子 (近畿地方整備局)